

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 とんぼ池山荘	代表者	福山 知子	法人・ 事業所 の特徴	「一人ひとりの心を大切に」の理念のもと、利用者様・家族様が何を必要とされているかを共に考え、共に悩み、柔軟な対応とサービス提供を心掛けている。 春は桜に夏は蛍。秋は紅葉、冬は薪ストーブが大活躍。ログハウスの建物の中でも外でも、一年を通じて四季を感じられる施設である。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 とんぼ池	管理者	澤田 裕加里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	3人	2人	人	人	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	正職・嘱託・パートを問わず、全員で取り組むことが出来たので、これからも継続していく。	新規採用の職員にも、評価の意義を理解してもらい既存職員と共に取り組むことが出来た。	個人で評価したことを職員全員で共有・協議出来ていることは素晴らしい。今後も継続して行ってください。	常勤・非常勤スタッフ全員で今後も事業所評価に取り組んでいく。
B. 事業所のしつらえ・環境	一日の定員(15名)を遵守し、利用者様の安全を第一に環境整備に取り組む。	利用者様の動きを制限する施設などは一切行わず、かつ希望される方には見学・体験等の受け入れを積極的に行った。	温かな雰囲気の中で、利用者さんの笑顔がたくさん見られ、良いことだと思う。	今後も事業所に入りやすい雰囲気づくりを継続して行い、見学・体験も積極的に受け入れいく。
C. 事業所と地域のかかわり	サロン・認知症カフェ・介護相談の告知を活発に行う。	ホームページや事業所玄関への掲示等で案内を行った。	可能な限り、地域のイベントにも是非参加して欲しい	地域にどんなイベントがあるかを情報収集し、職員・利用者様とも参加・交流していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	対面での運営推進会議を定期開催。	毎回、推進委員様には出席をいただき、忌憚のない意見交換を行ってきた。	介護の現場の実情がよくわかった。地域で困っている人にも「相談できるところがあるよ」と教えてあげたい。	運営推進会議以外でも、地域の方との信頼関係を結び、「地域でお役に立てる介護施設」として関わっていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	事業所運営の中心者が出席し、いただいたご意見をすぐ反映できるようにする。	委員様より、「在宅生活の継続が困難だ」と感じる方の相談を受ける等、双方向の意見交換ができていく。	Dと同様	事業所の取組みを発表するだけでなく、地域で介護に関する困りごとがないか等聞き取る。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP(業務継続計画)を作成し、職員に周知する。	職員全員への周知徹底がまだまだ出来ていない。	地域の防災訓練にも引き続き参加して下さい。	BCP計画に基づき、有事の際には落ち着いて行動できるよう、職員に周知徹底する。